

zxjafont パッケージ (v0.5)

八登崇之 (Takayuki YATO; aka. “ZR”)

v0.5 [2019/06/29]

1 概要

X_qLaTeX + fontspec でのフォントファミリ名を直接指定する方式は「好きなフォントを指定する」という点では、pLaTeX よりも格段に使い易いが、日本語を扱うためには必ず何らかの設定を行う必要があり、これが煩わしく感じられる場合もある。本パッケージでは、pLaTeX において一般的に行われている設定を予め用意しておいて、簡単に呼び出せるようにしている。

■前提環境

- フォーマット：LaTeX
- エンジン：XeTeX
- 依存パッケージ：fontspec パッケージ

2 使い方

以下のようにパッケージを読み込むだけである。(ユーザ命令・環境はない。)

```
\usepackage[<メイン設定>,<サブ設定>,<他オプション>]{zxjafont}
```

<メイン設定> は 1 つだけ指定できるが、<サブ設定> と <他オプション> は任意個数指定可能である。もし fontspec が未読込の場合は自動的に読み込む。X_qLaTeX には和文と欧文の元来の区別がないので、このパッケージで指定するフォントが全ての文字に通用する。ただし、zxjatype パッケージでは和文と欧文を区別するので、それと併用の場合は和文のみにフォント設定が適用される。

2.1 メイン設定

総称ファミリの設定 (fontspec の \setmainfont、\setsansfont、\setmonofont) を行うもの。

※「メイン設定」は pxchfon パッケージにおける「プリセット設定」をそのまま (ただし明朝・ゴシック 2 ウェイトに縮減して) 引き継いでいる。設定内容の詳細については、pxchfon の説明書を参照してほしい。

■単ウェイト用の設定 明朝・ゴシック各々 1 ウェイトのみを用いる設定。セリフ (\rmfamily) に明朝、サンセリフ (\sffamily) と等幅 (\ttfamily) にゴシックを割り当てる。さらに、pLaTeX の習慣に合わせて、セリフの太字 (\bfseries) もゴシックにする。(これは必ずしも好ましい設定ではないことに注意。)

- ms : MS フォント。
- ipa : IPA フォント。
- ipaex : IPAex フォント。

※ Xe_LTeX は「フォント非埋込の PDF 生成」に対応していない。

■多ウェイト用の設定 明朝・ゴシック各々 2 ウェイトを用いる設定^{*1}。セリフに明朝、サンセリフと等幅にゴシックを割り当て、各々について通常 (`\mdseries`) と太字 (`\bfseries`) を個別に設定する。

- ms-hg : MS フォント + HG フォント。
※ HG フォント = Microsoft Office 付属の日本語フォント
- ipa-hg : IPA フォント + HG フォント。
- ipaex-hg : IPAex フォント + HG フォント。
- moga : Moga フォント (2004JIS 字形)。
※ MogaEx 系統が用いられる。
- moga-90 : Moga フォント (90 / 2000JIS 字形)。
※ MogaEx90 系統が用いられる。
- ume : 梅フォント。
- kozuka-pro : 小塚フォント (Pro 版)。
- kozuka-pr6 : 小塚フォント (Pr6 版)。
- kozuka-pr6n : 小塚フォント (Pr6N 版)。
- hiragino-pro : ヒラギノフォント基本 6 書体セット (Pro/Std 版)。
- hiragino-pron : ヒラギノフォント基本 6 書体セット (ProN/StdN 版)。
- morisawa-pro : モリサワフォント基本 7 書体 (Pro 版)。
- morisawa-pr6n : モリサワフォント基本 7 書体 (Pr6N 版)。
- yu-win : 游書体 (Windows 8.1 搭載版)。
- yu-win10 : 游書体 (Windows 10 搭載版)。
- yu-osx : 游書体 (macOS 搭載版)。
- sourcehan : Source Han Serif (源ノ明朝) + Source Han Sans (源ノ角ゴシック)、非サブセット版^{*2}。
- sourcehan-jp : Source Han Serif + Source Han Sans、日本用地域別サブセット版。
- noto : Noto Serif CJK + Noto Sans CJK、非サブセット版。
- noto-jp : Noto Serif JP + Noto Sans JP、日本用地域別サブセット版。

■他パッケージとの互換用のオプション

- kozuka : kozuka-pro の別名。(ptex-fontmaps でのプリセット名。)
- morisawa : morisawa-pro の別名。(ptex-fontmaps でのプリセット名。)
- moga-mobo-ex : moga の別名。(ptex-fontmaps でのプリセット名。)
- noto-otf : noto の別名。(luatexja-preset でのプリセット名。)

^{*1} fontspec では 3 ウェイト以上の設定ができない。)

^{*2} つまり、地域別サブセット OTF 版以外のもの。後掲の noto も同じ。

※なお、hiragino-pro と同義の ptex-fontmaps のプリセット名は hiragino であるが、本パッケージの hiragino は旧版で用いられていた設定であり hiragino-pro とは異なる。

■廃止されたプリセット設定 0.2a 版以前で用意されていた次のプリセット設定は、0.5 版において廃止された。現在は指定するとエラーが発生する。

kozuka4、kozuka6、kozuka6n、hiragino、ms-dx、ipa-dx、hiragino-dx

2.2 サブ設定

fontspec では使用するフォントを `\newfontfamily` 命令で増やすことができる。それを利用した追加設定である。

- `hg`: Microsoft Office のフォント (HG フォント) に対応する、以下のファミリー命令が定義される。
 - `\hgmcfamily`: HGS 明朝 B、太字 =HGS 明朝 E。
 - `\hgprfamily`: HGS 創英プロレス EB
 - `\hggtfamily`: HGS ゴシック M、太字 =HGS ゴシック E。
 - `\hggufamily`: HGS 創英角ゴシック UB
 - `\hgmfamily`: HG 丸ゴシック M-PRO
 - `\hgkkfamily`: HGS 教科書体
 - `\hgksfamily`: HG 正楷書体-PRO
 - `\hggsfamily`: HGS 行書体
 - `\hgppfamily`: HGS 創英角ポップ体
- `hiraginomg`: ヒラギノの丸ゴシックを使う設定。
 - `\hmgfamily`: ヒラギノ丸ゴ Pro W4
- `mobo`: Mobo フォント (2004JIS 字形) を使う設定。
 - `\mobofamily`: Mobo フォント (2004JIS 字形)
- `mobo-90`: Mobo フォント (90 / 2000JIS 字形) を使う設定。
 - `\mobofamily`: Mobo フォント (90 / 2000JIS 字形)
- `maruberi`: マルベリフォントを使う設定。
 - `\mmfamily`: モトヤ L マルベリ 3 等幅

※ fontspec では取り扱うフォントのウェイトを通常 (`\mdseries`) と太字 (`\bfseries`) の 2 つに制限している。多くの OS での扱いに合わせているようである。

2.3 その他のオプション

- `oneweight`: 複数ウェイト用のメイン設定を単ウェイトとして用いる。
※ pxchfon の説明書において `\setminchofont` と `\setgothicfont` で設定されているウェイトのフォントが用いられる。
- `nooneweight`: `oneweight` の否定。
- `prop`: プロポーションアル幅のフォントを用いる。例えば、「IPA 明朝」の代わりに「IPA P 明朝」、「HGS

行書体」の代わりに「HGP 行書体」を指定する。既定で用いるのは等幅のフォントだが、「欧文のみプロポーショナル」の変種（HG フォントの場合「HGS～」名称のもの）がある場合はそれを優先させている。

※ `zxjatype` を用いる場合は、和文は等幅フォントを用いることが前提なので、このオプションは指定できない（エラーになる）。

- `noprop` : `prop` の否定。
- `scale=<実数>` : スケール値 (`fontspec` の `Scale` 属性の値)。既定値は、`BXjscls` の文書クラスおよび `zxjatype` パッケージで指定されている場合はその値、なければ 1 となる。
- `jis90/90jis` : 90JIS 字形 (2000JIS 字形) の使用を指定する。
- `jis2004/2004jis` : 2004JIS 字形の使用を指定する。
- `feature={<属性リスト>}` : このパッケージで指定されるフォント全体に通用する `fontspec` の属性の指定。